

富山県立石動高等学校 シラバス

科目名	生物基礎	単位数	2	学科	普通科	学年	2
使用教科書	7 実教 310 生物基礎(実教)		副教材等	ニューステージ新生物図説(浜島書店) センサー生物基礎改訂版(啓林館)			
科目の内容と到達目標	遺伝や生物のはたらき、環境などの学習をととして、日常生活や社会における問題について生物学的に探求する能力と態度を育成するとともに、その基本的な概念を理解する。						
学 習 計 画 等							
学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い ・ 目 標			備考(学習活動の特記事項・副教材使用等)	
1	4	第1部 生物の特徴 第1章 生物の共通性と多様性	<ul style="list-style-type: none"> ・生物は多様でありながらも共通性を持っている事を理解する。 ・細胞の基礎的特徴を理解させるとともに、生物の基本単位である事を学習する。 ・生命活動のため、代謝によりエネルギーを取り出している事を理解する。 ・DNAの構造が二重螺旋構造を持つことと、その塩基配列が遺伝情報となる事を理解する。 ・体細胞分裂の前後で遺伝情報の同一性が保たれる事を理解する。 ・細胞周期の内、間期に複製が行われる事を理解する。 ・DNAの塩基配列がタンパク質のアミノ酸配列に置き換えられる事と、その際の転写や翻訳による情報の流れを理解する。 ・恒常性について理解する。 ・体液、肝臓、腎臓の働きについて理解する。 ・神経系、内分泌系の働きについて理解する。 ・ホルモンの特徴について理解する。 ・自律神経系の構造と、拮抗的作用について理解する。 ・自律神経とホルモンの共同作用について理解する。 			生物図説P16～29 生物図説P30～32, 48 生物図説P50～61 生物図説P50～63	
	5	【中間考査】 第2章 細胞とエネルギー 第2部 遺伝子とその働き					
	6	第1章 遺伝情報とDNA 第2章 遺伝情報の分配 第3章 遺伝情報とタンパク質の合成					
	7	【期末考査】 第3部 生物の体内環境の維持 第1章 体内環境と恒常性 第2章 体内環境の維持の仕組み					
2	9	第3章 免疫 第4部 生物の多様性と生態系 第1章 植生の多様性と分布	<ul style="list-style-type: none"> ・生体防御について、白血球の働き、抗体の仕組み、リンパ球の働きについて理解する。 ・様々な植物の形態の特徴について理解する。 ・植物の環境への適応について考える。 ・植生の変化と環境への作用、反作用を理解する。 ・様々な生物群系とその多様性を理解する。 ・物質の循環と生態系の関係とその複雑な関連性を理解する。 ・物質循環とともにエネルギーの変遷について理解する。 ・人間の生活が与える影響について考察し、持続的な社会を実現するための課題を考える。 			生物図説P84～103 生物図説P106～121, 130～137	
	10	第2章 生態系とその保全					
	11	【中間考査】 ※生物選択選択者は2学期中間考査以降は「生物」に進む。					
	12						
3	1						
	2						
	3						
提出物・課題等 ・問題集(センサー生物基礎改訂版)、確認プリント、実験プリントなど							
評価方法 ・各学期の定期考査の得点や確認プリント、実験プリント、問題集の提出状況、授業への参加態度などを総合的に判断する。							